

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	成人看護学概論・保健	学 期	後 期	広川 功士（看護教員）
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的	ライフサイクルにおける成人期を、諸統計や健康の動向と併せて理解し、成人期にある多様な健康状態の対象の看護が実践できるための基礎的知識・技術を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフサイクルにおける成人期の位置づけを理解する。</li> <li>2. 成人各期にある人の特徴と健康問題を理解する。</li> <li>3. 成人の健康問題を様々な保健統計を通して理解する。</li> <li>4. 成人を対象にした保健・医療・福祉政策を理解する。</li> <li>5. 成人期にある人の個別性を知ることの重要性を理解する。</li> <li>6. 健康生活を支える人間関係を構築する技術・理論を理解する。</li> <li>7. 成人期にある人が健康障害を持つことの社会的な意味を理解する。</li> <li>8. 成人期にある人の退院支援における課題と具体的方法を理解する。</li> </ol>			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	成人期とは	1) ライフサイクルからみた成人期 2) 生涯発達と成人	講義
	2	成人期の特徴	1) 成人期ってどういう時期だと思う？ 2) 成人期の発達課題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エリクソン</span>	講義
	3	成人各期の特徴と 健康問題	1) 青年期の特徴と健康問題	グループ ワーク
	4		2) 壮年期の特徴と健康問題	
	5		3) 向老期の特徴と健康問題	
	6	保健統計からみた 成人の健康の動向	1) 人口構成	個人ワーク グループ
	7		2) 平均寿命、死亡率、死因	
	8		3) 結婚・出産	
	9	成人を対象とした保 健・医療・福祉政策	4) 受療率等	ワーク
	10		5) 成人期の体力	
	11		6) 働くことと健康	
	12		7) 性感染症	
	13		8) DV                    9) 自殺	
	14	成人に対する看護の 視点	1) 成人を生活者として捉える	講義
15	2) 生活習慣、ワークライフバランス、ジェンダー			
16	成人看護に使用され る理論・モデル	1) ストレス理論	講義 グループ ワーク	
17		2) アンドラゴジーモデル		
18		エンパワメントモデル		
19		3) 自己効力理論		
20	成人期における健康 障害の特徴と看護	4) 危機理論 障害受容	講義	
21		1) 成人期にある人が健康障害を持つことの 意味を理解する		
22		2) 健康生活を支える人間関係の構築		
23		3) 患者・家族の意思決定を支える		
24		4) 成人期にある人々への退院支援		
教科書	成人看護概論・成人保健 メヂカルフレンド社			
参考文献	「国民衛生の動向 2022 年度版」 厚生省の指標—臨時増刊 厚生統計協会			
評価方法	試験 70%、授業への参加度・提出物の内容・提出状況 30% 評価は上記の総合評価とする。			
関連科目	基礎分野：哲学、社会学、教育学 専門基礎分野：解剖生理学、関係法規、社会福祉、公衆衛生学 専門分野：基礎看護学、在宅看護論、老年看護学、精神看護学			
自己学習に関する指針	健康問題やそれに関する新しい情報の発信（新聞・雑誌・テレビ等）に関心を持って欲しい。			
その他の 通知事項	随時質問に応じる。			

